

教科書：新詳地理B、新詳高等地図（帝国書院）

副教材：新詳地理資料 COMPLETE 2019（帝国書院）、2021 データブック オブ・ザ・ワールド（二宮書店）

学習目標

本校の社会科の目標

我が国の成り立ちや歴史的過程の生活・文化の特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

第6学年の目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に学び、現代世界の諸地域を歴史的背景も踏まえて地誌的に考察することによって、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。

上記の目標に従い第4学年で学んだ内容を確認したあとは、入試問題を解く力をつけることも目標とする。この講座を選択する生徒は、国公立大学の理科系学部への進学を希望している生徒のうち大学入学共通テストで「地理B」を受験する生徒が中心になるので、複数の資料を読み解いていく力を養成していく。

教科書に記載されていない最新の事項が出題されることもあるため、時事的な問題も取り上げて、内容を解説するとともに、その事項に対する自分の意見を持つという姿勢を育てる。

学習方法

(1) 予習

- ①教科書（地図帳）や資料集を読む
- ②事前に配布されるプリントを解いておく

(2) 授業

自ら積極的に授業に参加し、理解に努める

(3) 復習

- ①理解したことをノートにまとめる
- ②不正解であった問題を復習する

評価の観点・方法

以下の4観点に基づき、生徒一人一人の学習状況を単位ごとに評価をします。

観点① 関心・意欲・態度	○現代世界の地理的事象を系統地理的に学び、現代世界の諸地域を歴史的背景も踏まえて地誌的に考察することによって、現代世界の地理的認識や地理の見方・考え方に関する関心と課題意識を高めようとしている。				
観点② 思考・判断・表現	○現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に、また歴史的背景を踏まえて地誌的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえて公正に判断しようとしたか。				
観点③ 資料活用の技能	○地図や統計、画像等の地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することを通して、地理情報や地図の活用に関する技能を身につけたか。				
観点④ 知識・理解	○地図の有用性を理解し、地図の活用に関する地理的技能を理解し、身につけたか。 ○現代世界の諸事象を系統地理的に考察する方法と現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を理解し、身に付けたか。 ○現代世界に関する地理的認識や地理的な見方・考え方を理解し、身につけたか。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	学習状況観察	○	○		
	課題などへの取り組み		○	○	○
	授業中に行う問題演習への取り組み	○	○	○	○

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・自然地理の学習において重要な地形と気候について、その成因にまでさかのぼり解説して、第4学年における学習の理解度を確認することから始め、問題演習によって知識の定着度と知識を組み合わせ問題解いていく力を確認する。 ・自然地理的な観点からの地形図の読図にとどまらず、新旧の地形図の比較や社会的事象と組み合わせた地形図の読図を行い、地形図に対する理解の度合いをはかる。	《学習内容》 ・自然環境 地形と気候 ・地理情報と地図 ・地形図の読図 《教材》 ・教科書 ・プリント ・資料集 ・自然地理の分野では地学の内容も採り入れて学習し、地図に関してはGIS(地理情報システム)についても学習する。	
2 学 期	・世界の産業（第一次・第二次・第三次）を取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 ・環境問題、人口問題など、国・地域によって置かれた状況が全く異なり、地球的な課題となっていることについて考察する。 ・世界地誌に関する基礎的な知識を身につける。	《学習内容》 ・資源と産業 ・地球的課題 ・世界の諸地域 《教材》 ・教科書 ・プリント ・資料集 ・年間の増加率が何%であれば人口が40年で2倍になるかを計算したり、日本の人口減少に関するデータを収集し1億人を下回るのは何年後になるかを予測したりする。	
3 学 期	・問題演習を行い、学んできたことがどの程度定着してきたかを確認する。	《学習内容》 ・問題演習 《教材》 ・教科書 ・プリント ・資料集	

学習のアドバイス

- 重要語句については正しく覚えること。
- 新聞やテレビのニュースを学習に活用し、自分なりに解説ができるようにすること。